



# 西野だいすけ通信

## 第11号 (ふるさと熊本編①)

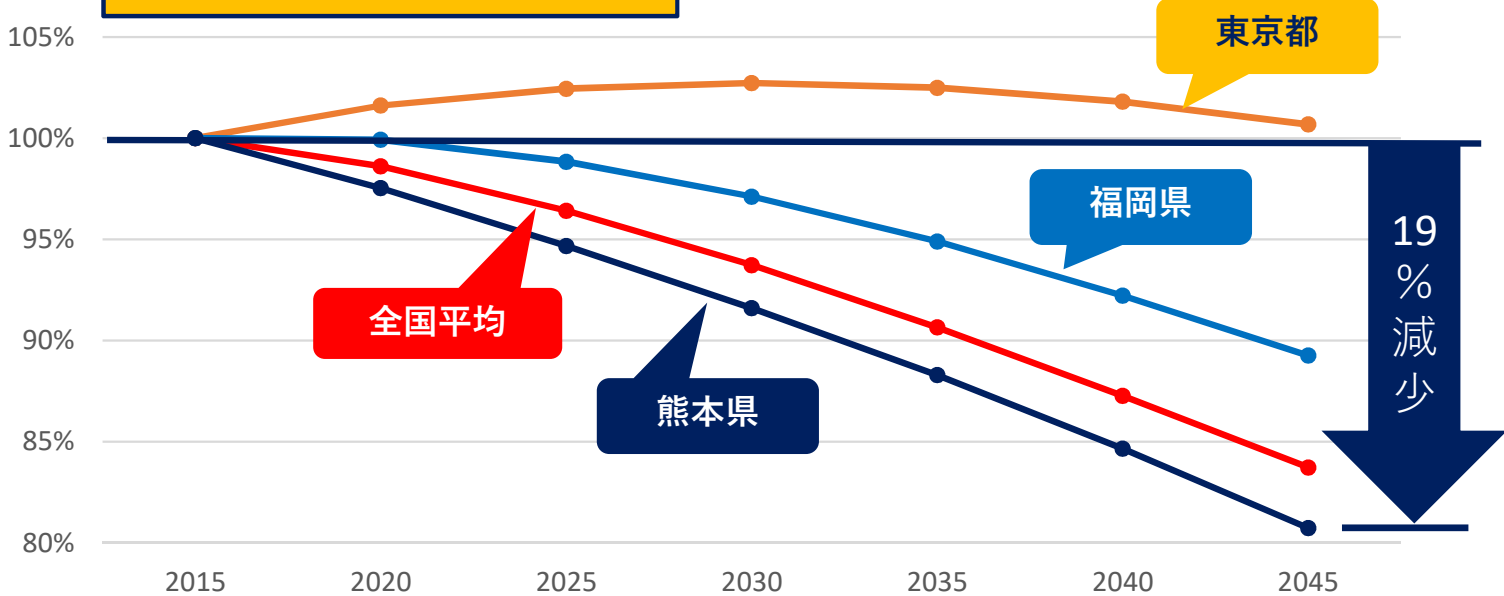
皆さま、こんにちは。2017年衆議院議員選挙候補(次点)の西野だいすけです。この度は、本誌を手にとっていただき、ありがとうございます。

今回から、3回に渡り、ふるさと熊本について、考えてみたいと思います。1回目の今回は、熊本の課題についてです。

- ◆ 昭和53年生まれ 40歳
- ◆ 熊本生まれ、熊本育ち  
飽田町砂原(現・熊本市南区)出身  
藤園中学校 / 熊本高校 卒業
- ◆ 東京大学 法学部 卒業
- ◆ 元 財務省 主計局 主査
- ◆ 2017年衆議院議員総選挙候補者  
※熊本2区で**62,575票**を得るも、**落選**

### 1. 熊本の課題

#### (1) 熊本県の将来人口推計



- 熊本県の人口は、**今後40年間で約2割減少**
- 19%の減少幅は、**全国平均の約16%を下回る** (全国15位)
- また、**福岡県の減少幅(約11%)の約2倍**

討議資料

西野だいすけ通信 第10号

平成31年1月発行

【熊本事務所】熊本市南区田迎5-1-30 【玉名事務所】玉名市中1675-1 (1階裏口)

(TEL) 096-379-6079

(FAX) 096-273-8506



西野だいすけの選挙区(熊本2区)

熊本市(西区・南区)、荒尾市、玉名市、玉名郡(玉東町、和水町、南関町、長洲町)

## (2) 人口減少の影響

- 人口減少により大きく影響を受けるのは、まずは、**経済**です。**経済は**、需要（消費など）の面でも生産の面でも、**人口に大きく依存**しているからです。
- また、**働き手が減り、消費する人も減れば**、当然、**税収が減少**することとなり、医療・年金・介護・保育園といった社会保障をはじめ、公共交通インフラや道路の整備が滞ることとなり、**行政サービスの低下**が懸念されます。
- その結果、熊本を徐々に離れる人が増えることとなり、**人口減少に拍車**がかかることとなります。
- 愛するふるさと熊本を、半永久的に持続可能なものとするためには、人口減少にどう歯止めをかけるか、避けては通れない課題です。

- 需要、生産の両面で**経済に悪影響**を及ぼす恐れ
- 結果として、**税収が減り**、財政にも悪影響を及ぼす恐れ
- 社会経済全体が悪循環に陥り、**社会の持続可能性が損なわれる**恐れ

## (3) 熊本における人口減少の要因

- 人口減少の要因は、①自然減（出生数よりも、死亡数が多い）、②社会減（他県からの転入者よりも、他県への転出者が多い）の二つに大別されます。
- 下の表をご覧くださいただければわかる通り、**熊本の場合には、出生率や子どもの割合は、全国的に見て、トップクラス**ですので、県外への転出者を減らし、県外からの転入者を増やして（=**社会減を減らして**）いかなければいけません。

①都道府県別子どもの割合 (平成29年10月)			②都道府県別出生率 (平成29年)			③熊本県の社会増減率			
順位	都道府県	割合	順位	都道府県	出生率	都道府県	29年	28年	27年
1位	沖縄県	17%	1位	沖縄県	11.3	全国平均	0.12	0.11	0.07
2位	滋賀県	14%	2位	福岡県	8.6	東京都	0.77	0.78	0.83
3位	佐賀県	14%	3位	愛知県	8.5	福岡県	0.22	0.17	0.10
4位	熊本県	13%	4位	熊本県	8.4	熊本県	▲0.10 27位	▲0.34 44位	▲0.19 27位

【出典】厚生労働省HP

- 熊本は、**出生率、子どもの割合**ともに、**全国4位**
- 人口減を食い止めるためには、他県への**人口流出を減らす必要**
- 働き世代の**Uターン**や他県からの**Iターン**（移住）を**増やす必要**

## (4) 熊本の社会減を減らすための2つの夢

詳細は、次号・次々号でお話しします。お楽しみに～！

### 夢其の壺

### 目指せ！農林水産王国、熊本

海苔やみかん、トマトなど、世界に誇れる農産品の一大産地、熊本。そうした熊本の特色を活かし、**熊本の経済を支える基幹産業**を大きく育てます。

### 夢其の式

### さらば！渋滞王国、熊本

「渋滞王国」とも揶揄される熊本。渋滞の解消を含め、子育てしやすい環境やコンパクトシティなど、**住みやすいまちづくり**を強力に推し進めます。



## 2. 西野だいすけの何でも挑戦してみよう！

### 【第3弾】みかん栽培の手入れ

8月中旬、玉名市天水町で、みかん栽培の手入れのお手伝いをさせていただきました。

朝一番は、マルチシートの張替え作業。

これは、①太陽光を反射させて、木の内側にも光を届けるため、②木に与える水分量を減らして、旨味を増やすため、に必要です。みかんの木の下を這いつくばって、汗ダラダラになりながらの作業でした。

お昼の休憩を挟んで、午後からは、てっか作業を手伝いました。てっかは、みかんの数を減らして、残したみかんに栄養分と旨味を集中させるために行うものですが、どのみかんを残すべきか、素人に判断できるはずはありません。プロは、いくつもの条件を肌感覚で理解して、残すみかんを瞬時に判別します。数日間で数ヘクタール分をてっかしなないといけないので、モタモタできません。素晴らしい技術です。

みかん栽培をめぐるは、後継者不足、価格の低迷といった課題が山積しています。若手農家の皆さまと共に、その課題に向き合い、乗り越えていきたいと思ひます。

変なことです。素人の私は、頻繁に態勢を変えずにはおられませんでしたが、この道数十年のベテランのご婦人たちは、態勢を変えることなく、丁寧かつスピーディーに作業を進めていらっしゃいました。素晴らしいと思ひました。熊本のいちごをまだまだ盛り上げていきたいです。



### 【第5弾】海苔の種入れ

3月の海苔養殖の片付けに続き、西区小島下町で海苔のお手伝いです。

海苔の種入れとは、海苔の胞子がたくさん付着した牡蠣の貝殻をビニールの袋に入れていく作業です。この海苔の胞子が、ビニールから出て、網にくっついて、海苔が育ちます。すごい仕組みですね。

種入れの作業も、約30人で約4時間かけて、数万個を入れなければいけません。膝にも腰にもかなりの負担がかかる重労働です。

海苔の養殖にも、初期コストの負担が大きいこと、収穫が気候天候に大きく影響を受けやすいことなど、課題が多くあります。若手漁師の皆さまと知恵を出し合い、熊本の海苔産業を盛り上げていきたいです。



### 【第4弾】いちごの定植

玉名市大浜町でいちごの定植のお手伝いをしてきました。

美味しいイチゴを作るためとは言え、ずっと中座り状態で作業を続けるのは、大



## 西野 だいすけ プロフィール

昭和53年9月22日、熊本県飽託郡飽田町砂原（現・熊本市南区砂原町）生まれ。飽田東保育園卒園、熊本市立城東小学校、藤園中学校、熊本県立熊本高校、東京大学法学部卒業。平成15年財務省入省。米国コロンビア大学公共政策大学院修了後、大臣官房秘書課課長補佐、復興庁参事官補佐、主計局主査などを経て、平成28年4月、財務省退官。平成29年10月、第48回衆議院議員総選挙に熊本2区から出馬。62,575票を得るも、落選。現在、次なる戦いにむけて、精力的に活動中。



### 3. 政治活動ハイライト (2018年8月～12月)



①後援会青年部熊本支部の懇親会



②水あかりのボランティアに参加



③辻立ちの様子



④後援会女性部「りんどう支部」立上げ



⑤荒尾市の支援者との懇親会



⑥飽田まつりで氷作り



⑦河尻神宮秋季例大祭に参加



⑧和水町後援会で役員を選出



⑨上高橋おやじダンサーズに参加



⑩玉名市大浜町の夏祭りに参加



⑬岱明町の支援者と懇親会



⑪辻立ちの様子



⑫白坪校区八島で餅つき大会に参加



⑭天明地区の後輩等